

市指定文化財<史跡>

いでたおにいしこふん 出田鬼石古墳

指定日 昭和45年2月13日

所在地 菊池市出田 上出田



花房台地から菊池川左岸の菊池平野を一望する丘陵上の、菊池十八外城の一つ古池城跡に隣接したところに、出田鬼石古墳がある。この古墳は羨門、羨道前室などを備えた横穴式石室で、巨石のみを使用していることから「赤星やんぼし塚」と同時代(6世紀)のものといわれている。

古墳の上を覆う天井石が2枚、1枚は2.3m×2.1m、もう1枚は2.5m×2.0mで、3分の1くらいから割られ、ノミの跡が残る。当時割ったのか、後世に割られたものであるかは不明である。

石室の内部は奥行き3.3m、幅1.5m、高さは0.6mで、側石は両側とも2枚の凝灰岩からできており、体を屈めてやっと入れる高さである。昭和31年の調査時に金環が出土したという。

古墳への道は車道から左に15m程小道を登り、2m近い法面を越えた所で、墳丘はなくなっており石室のみが見られる。